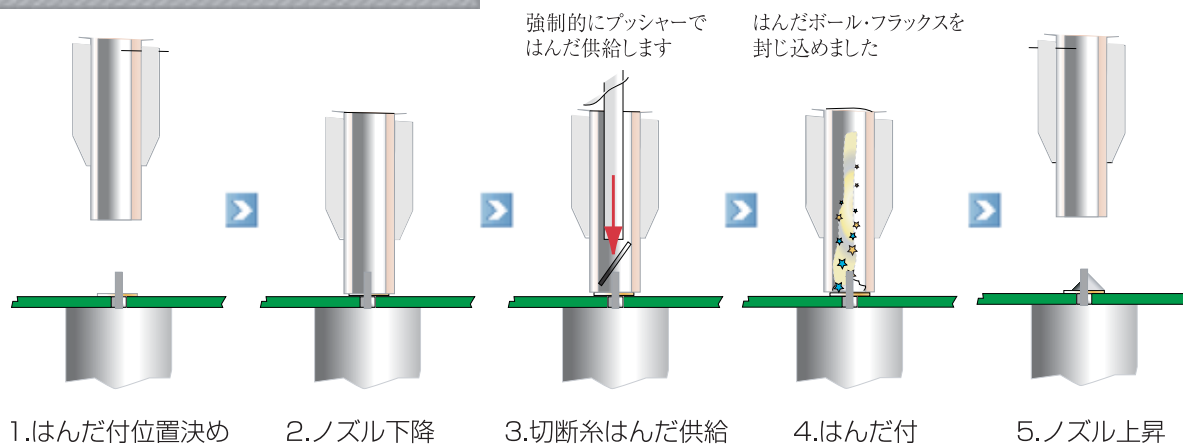


株式会社PARAT

先端デジタル製品の技術開発に
やわらかな発想を

➤ アクエリアスの動作例

ユビキタス時代をリード
「想像から創造へ」

会社名「PARAT」は「ぼらろといきまひよ」から名付けた。平成7年会社設立時に後援者に連れられて訪れた京都のお茶屋で、気負っていた中眞一郎社長にかけた女将の言葉。「肩ひじをはらずにゆつたり」という意味で、「ものづくりは苦しいからせめて名前だけでも」と社名にした。当初は「バラットドウ」で「ドウ」に「いきまひよ」の意味を込めたが平成20年10月に「PARAT」と改名した。

「PARAT」はユビキタス時代をリードする先端デジタル製品、自動車部品、携帯電話等の生産装置を開発するベンチャー企業。ブランドスローガンの「想像から創造へ」が示す通り、ただ設計して製造するだけでなく、構想（イメージーション）により重きを置き、ユーザーの想いを形にする。この考えに個人投資家の応援も多く、事業形態に開かれた会社だとの自負がある。

「ものづくり」に込められた想いを
全世界に

地球、星、銀河系の星雲を表したロゴマークに「想いが世界中に届くように」との意味を込め、商品名には星の名前をつけてブランド展開する。はんだ付作業ロボットは「アクエリアス」、小型精密部品を供給・収納するためのコンパクトストッカーは「ジュピター」、ダイレクトミキシングが可能な微量塗布接着剤塗布機は「ジェミニ」。

これらグローバルなネーミングを持つ「最先端の製品づくりの根底には、東大阪のものづくり文化を継承し、明日のために日々進化させる」との確固たる企業理念がある。「東大阪の地で長年培われてきた『ものづくり』の精神を受け継ぐフロントランナーだ」と中社長は明言する。

継承と進化を取捨選択
これからの「ものづくり」を創る

激変する世の中で製品サイクルはますます短くなっている。「日進月歩のスピードで製品はどんどん高機能化されています。そうした製品に必要な性能を、装置側が事前に見極めることが重要なのです」と話す中社長。長年にわたって装置開発を行ってきた同社ならばそれが可能だという。技術者の経験を活かし、幅広い業界に受け入れられる企画を提案する製作会社としてのブランド戦略に自信を持っている。絶えず新しいものを考え、それを形とし、標準化していくのだ。そこには、ニーズに

株式会社PARAT

Company
Profile

住所 / 〒578-0924
大阪府東大阪市吉田3-4-6
設立 / 平成7年9月
資本金 / 7,700万円
従業員 / 18名（平成21年1月現在）
TEL / 072-962-9901
FAX / 072-962-9904



中眞一郎さん
代表取締役

主な事業内容

先端デジタル製品の生産装置・樹脂レンズ生産装置
携帯電話用樹脂部品生産装置
電源デバイス生産装置
自動車部品生産装置
各種開発等

合わせてどういふものを継承し、進化させていくのか、ストーリーの展開がある。例えば「はんだ付作業ロボット」は、はんだを付けるときに飛び散りのあった従来のやり方から発想を転換し、筒の中ではんだ付をすることで飛散を防止した。これが「PARAT」的発想である。「東大阪の精密機械を作る開発型の会社として、『ぼらろといきまひよ』の発想で様々な面白い解決策を見つけていきます」と中社長。近未来の鉄工所として広がるバラットワールドの可能性は計りしれない。

<http://www.paratdo.com/>